

## パラリンピアンとボッチャにチャレンジ

都立高島特別支援学校小学部の児童に向けてボッチャ教室が開催されました。指導をするのは、秋元妙美選手（ロンドンパラリンピック日本代表）と仲俣海翔選手です。高島特別支援学校では、3年前から継続して授業にボッチャを取り入れているほか、ボッチャを通じた地域交流などの活動にも取り組んでいます。

児童らが選手と触れ合うのは初めての試みで、プレーにも心なしか気合が入っているように見えました。



- ・コロナ禍の教育現場では、これまで様々な制限があった。外出はダメ。大きな集団での活動はダメ。そんな中、窮屈な思いをしている子供たちのために「校内で、少人数のグループでできる活動を」と考えた。（校長より）
- ・よいプレーがあればガッツポーズで盛り上がり、仲間には拍手で称えてもらえる。そういった経験の積み重ねが自信につながる。（保護者より）